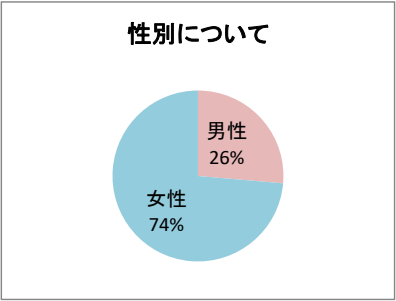


問1 性別はどちらですか

表1性別内訳

男性	203	26%
女性	567	74%

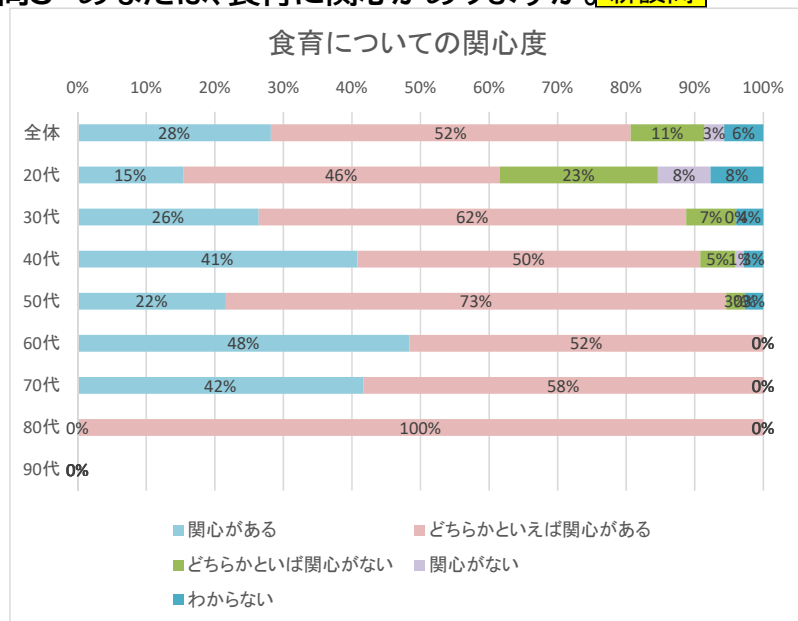


問2 年齢は何歳ですか

性・年代別内訳

	10代 (中学・高校)	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	計
全体	324	13	178	174	37	31	12	1	0	770
男性	157	2	13	17	5	6	3	0	0	203
女性	167	11	165	157	32	25	9	1	0	567

問3 あなたは、食育に関心がありますか。新設問



・食育に関心がある人は全体でみると80%となっています。

①関心がある	28%	} 80%
②どちらかといえば関心がある	52%	
③どちらかといえば関心がない	11%	
④関心がない	3%	
⑤分からない	6%	

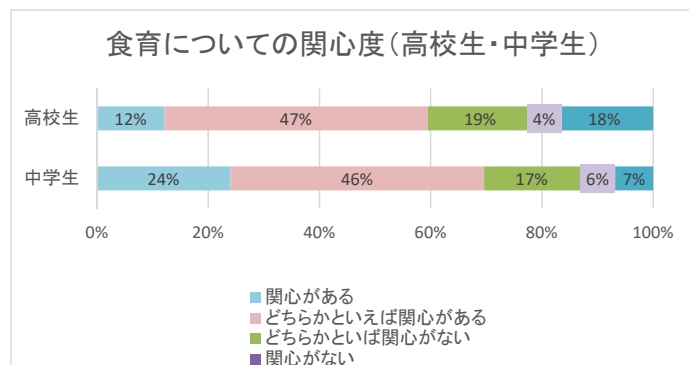
※参考「鹿児島県 県政モニター（令和5年度）」同設問

①関心がある	62%	} 94%
②どちらかといえば関心がある	32%	
③どちらかといえば関心がない	4%	
④関心がない	1%	
⑤分からない	1%	

※参考「国 食育に関する意識調査（令和5年度）」同設問

①関心がある	24%	} 78%
②どちらかといえば関心がある	54%	
③どちらかといえば関心がない	18%	
④関心がない	3%	
⑤分からない	1%	

※「第4次食育推進基本計画」の目標
食に関心を持っている国民の割合
目標値（令和7年度） 90%以上

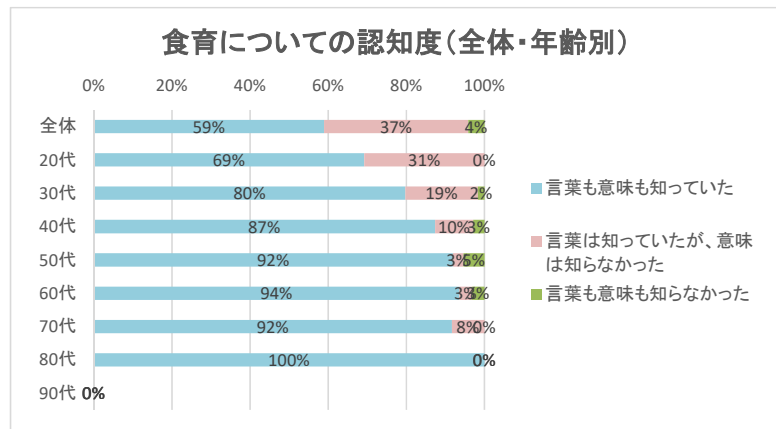


・高校生に食育に関心があるか聞いたところ
関心があると答えた人は59%となっています。

・中学生に食育に関心があるか聞いたところ
関心があると答えた人は70%となっています。

問4 食育について言葉やその意味を知っていましたか。

※()は令和5年度の数値



・食育という言葉を知っている人は全体でみると90%以上(90%以上)となっており、その意味まで理解できているのは59%(58%)となっています。

・食育について言葉も意味も理解できているのはどの年代でもほぼ50%以上となっています。また、世代が上がるに連れ認知度が高くなっています。

①言葉も意味も知っていた	59%	} 84%	(58%)
②言葉は知っていたが意味は知らなかった	37%		(38%)
③言葉も意味もしらなかった	4%		(4%)

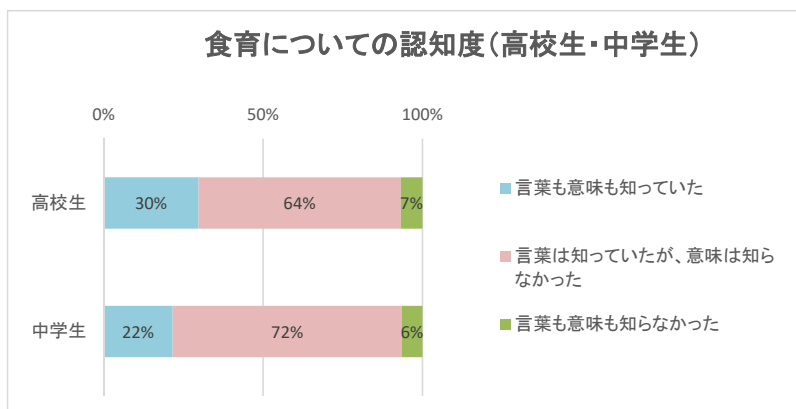
※「鹿児島県 県政モニター（令和5年度）」同設問無し

※参考「国 食育に関する意識調査（令和5年度）」同設問

①言葉も意味も知っていた	49%	} 84%
②言葉は知っていたが意味は知らなかった	35%	
③言葉も意味もしらなかった	9%	
④無回答	7%	

・高校生に食育という言葉についての認知度を聞いたところ知っている人とは90%(80%)以上、その意味まで理解できている人は30%(33%)となっています。

・中学生に食育という言葉についての認知度を聞いたところ知っている人とは90%以上、その意味まで理解できている人は22%(33%)となっています。

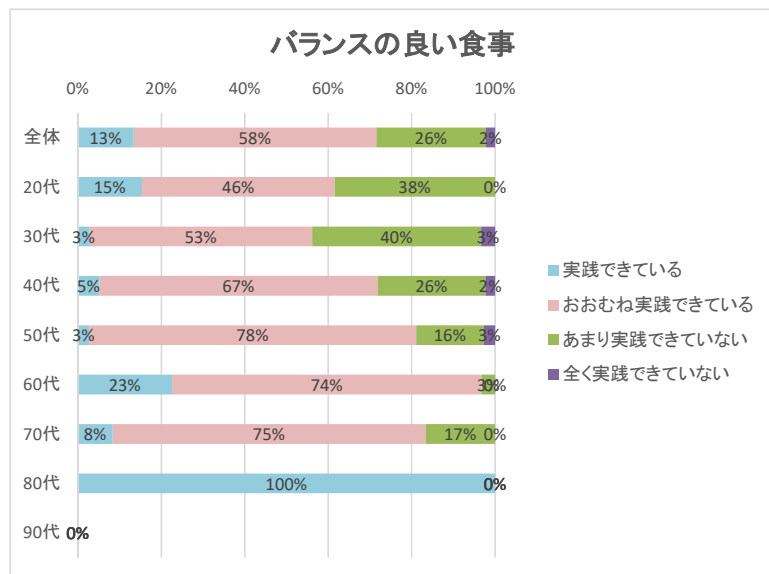


● 食育とは ●

様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること。
(生きる基本となること。ひとが生きる上で欠かせない重要なこと)

問5 あなたはの食生活において、主食、主菜、副菜を基本にバランスの良い食事がとれていますか。

新設問



- ・バランスの良い食事がとれている人は全体でみると70%以上となっています。
- ・世代が上がるに連れてバランスの良い食事をとれている割合が高くなっています。

①実践できている	13%
②おおむね実践できている	58%
③あまり実践できていない	26%
④全く実践できていない	2%
	71%

※参考「鹿児島県 県政モニター（令和5年度）」同設問

①実践できている	14%
②おおむね実践できている	61%
③あまり実践できていない	23%
④全く実践できていない	3%
	75%

※「かごしま食」交流推進計画（第4次）」の目標。栄養バランス等に配慮した食生活を送っている人の割合。

目標値（令和7年度） 80%以上

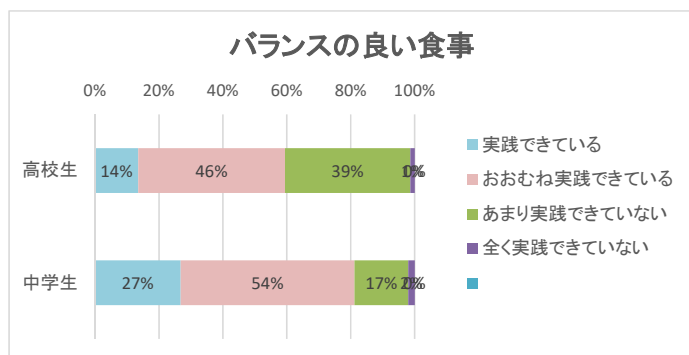
※参考「国 食育に関する意識調査（令和5年度）」類似設問

①実践できている	38%
②おおむね実践できている	47%
③あまり実践できていない	14%
④全く実践できていない	1%
	78%

（主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている国民の割合）

- ・高校生にバランスの良い食事がとれているか聞いたところとれていると回答した人は60%となっています。

- ・中学生にバランスの良い食事がとれているか聞いたところとれていると回答した人は81%となっています。

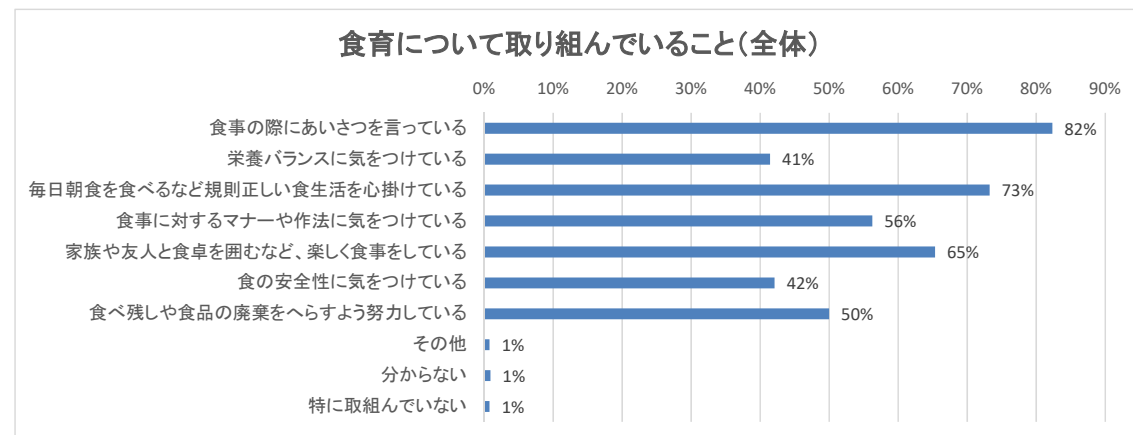


食育とは

様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること。（生きる基本となること。ひとが生きる上で欠かせない重要なこと）

問6 あなたが、食育について取り組んでいることは、何ですか。(複数回答)

※()は令和5年度の数値

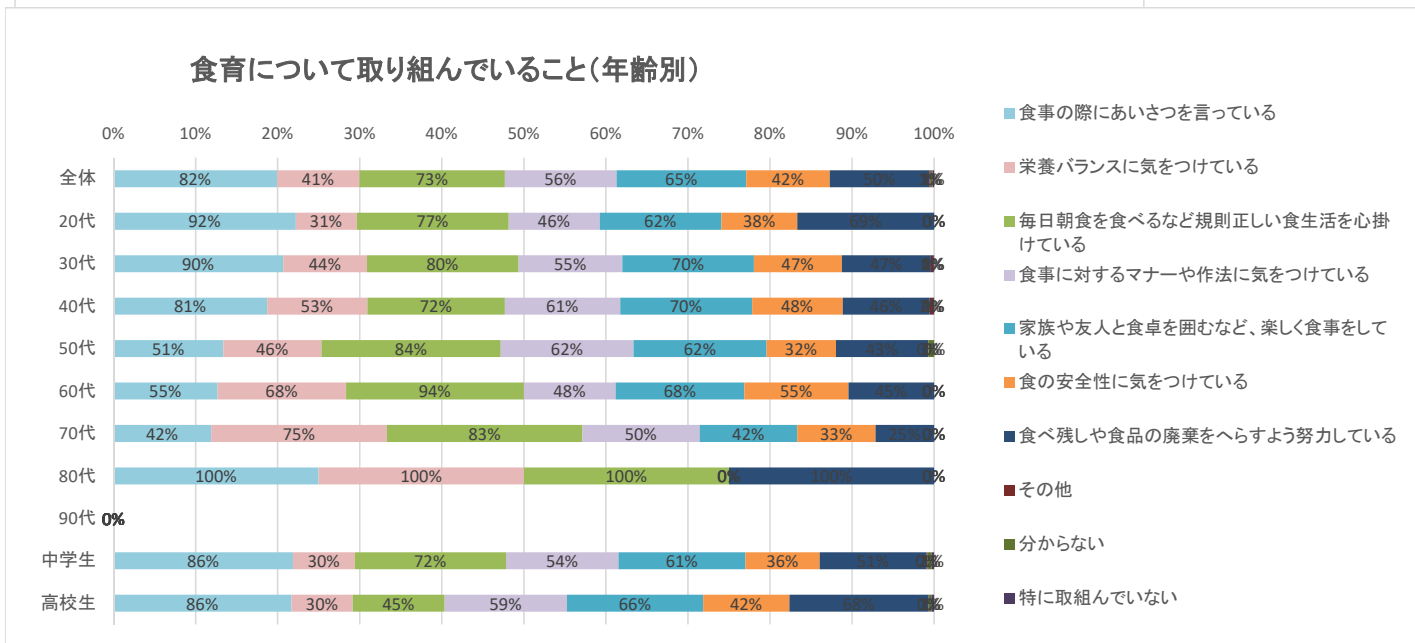


・食育について取り組んでいることについて聞いたところ、食事のあいさつを行っているが82%(87%)、毎日朝食を食べるなど規則正しい生活を心がけているが71%(79%)と上位であった。

- 1位 食事のあいさつを言っている
- 2位 毎日朝食を食べるなど規則正しい食生活を心がけている
- 3位 家族や友人と食卓を囲むなど、楽しく食事をしている

※「鹿児島県 県政モニター（令和5年度）」同設問無し

※「国 食育に関する意識調査（令和5年度）」同設問無し

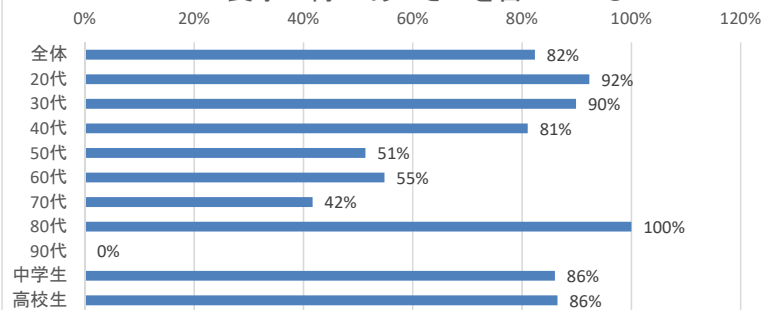


*複数回答のため、合計は100%になりません

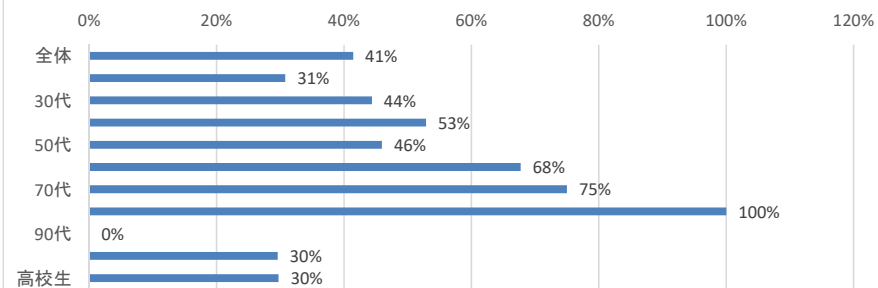
・年齢別で見ると、全体で1位の「食事のあいさつを言っている」については年齢が高くなるにつれて低くなっています。

・また、毎日朝食を食べるなど規則正しい生活を心がけているについては若年層について高校生は低い数値となっています。

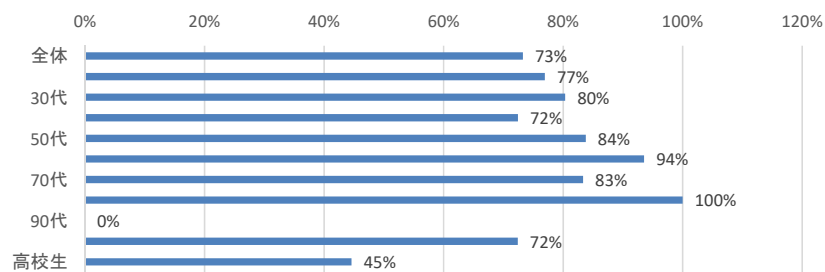
食事の際にあいさつを言っている



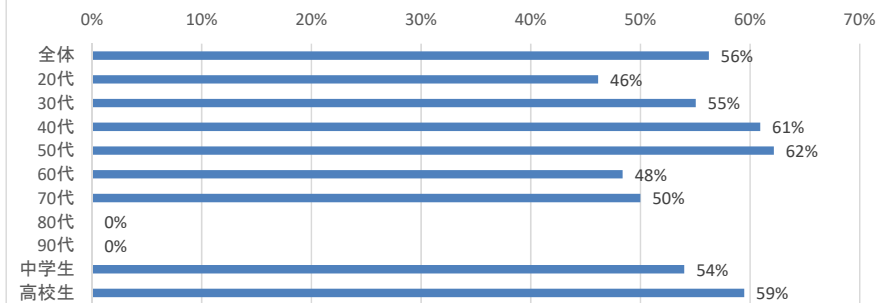
栄養バランスに気をつけている



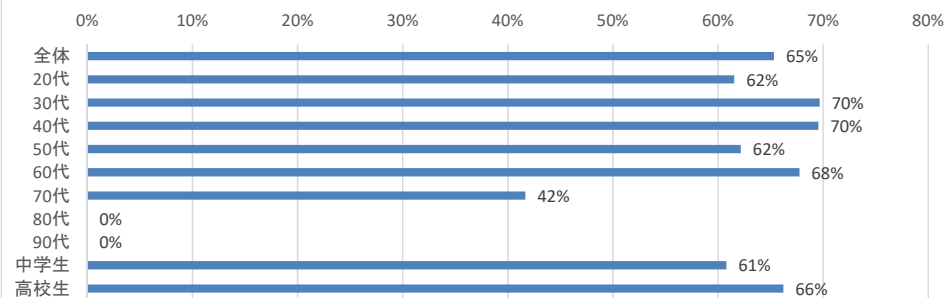
毎日朝食を食べるなど規則正しい食生活を心掛けている



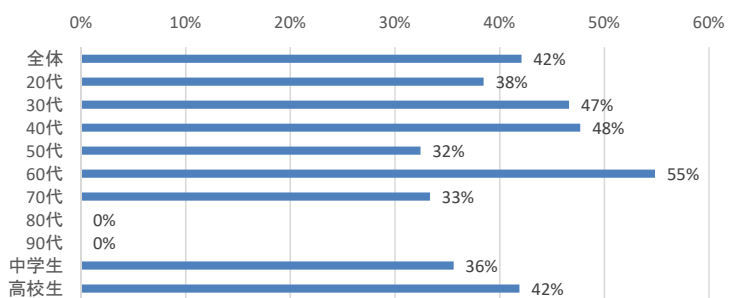
食事に対するマナーや作法に気をつけている



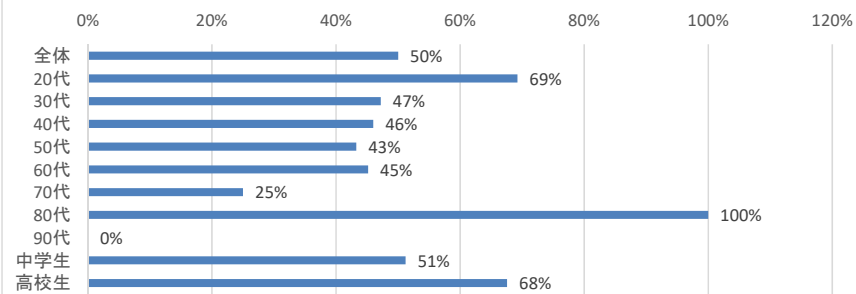
家族や友人と食卓を囲むなど、楽しく食事をしている



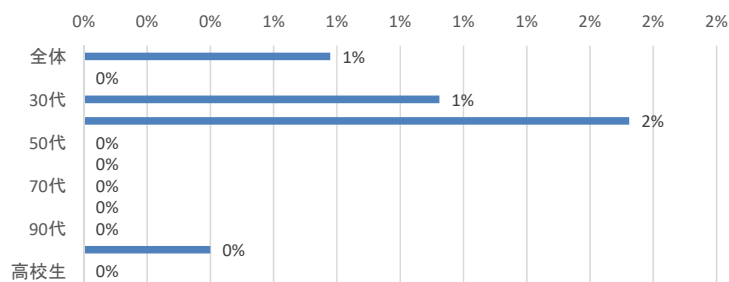
食の安全性に気をつけている



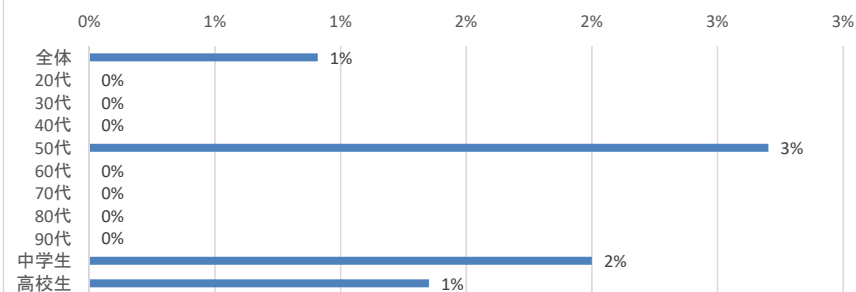
食べ残しや食品の廃棄をへらすよう努力している



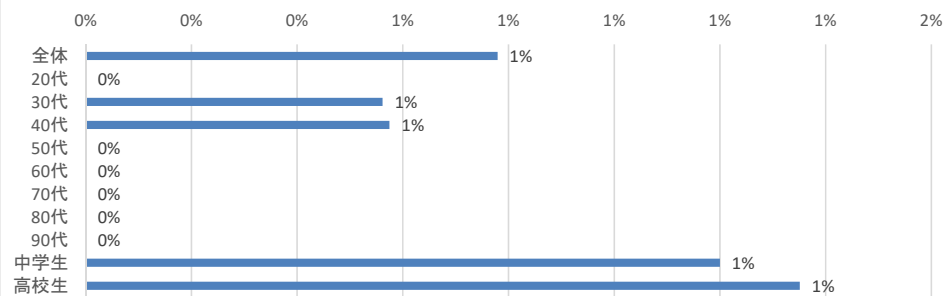
その他



分からない

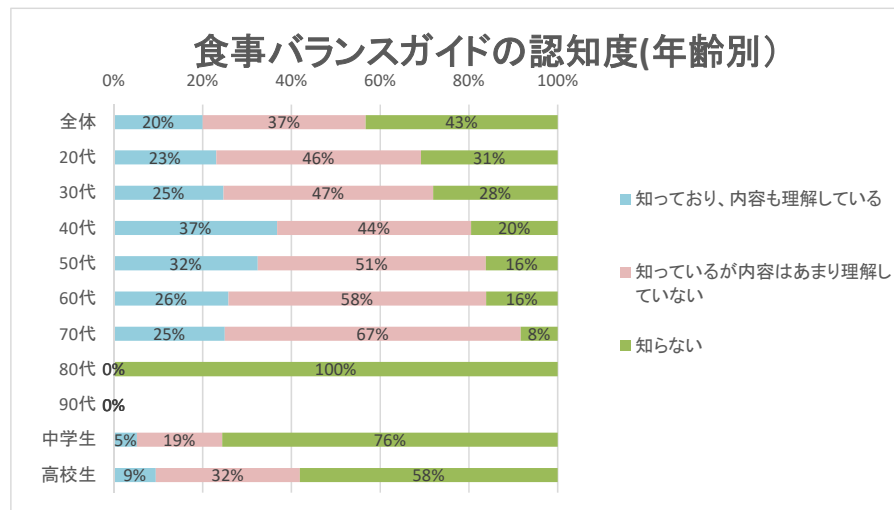


特に取組んでいない



問7 国では、食事の望ましい組合せをイラストによりわかりやすく示した食事バランスガイドを作成していますが、知っていましたか。

※()は令和5年度の数値



・食事バランスガイドを理解している(言葉も内容も理解している)人の割合は全体で**20%(22%)**、また、「言葉は知っているが、内容は理解していない」、「知らない」、が合わせて80%(78%)となっています。

・年齢別に見てみると、言葉と内容まで理解しているのは40代(40代)の割合が高く、中学生・高校生は「知っているが、内容はあまり理解していない」、「知らない」が合わせて90%(80%)以上となっています。

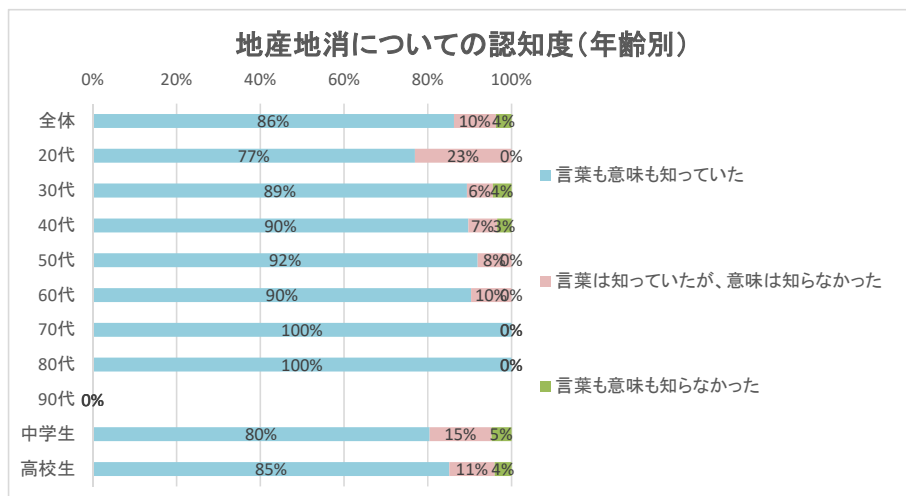
① 知っている、内容も理解している	20%	(22%)
② 知っているが内容はあまり理解していない	37%	(31%)
③ 知らない	43%	(47%)

※「鹿児島県 県政モニター(令和5年度)」同設問無し

※参考「国 食育に関する意識調査(令和5年度)」同設問

① 知っている、内容も理解している	24%
② 知っているが内容はあまり理解していない	40%
③ 知らない	36%

問8 地産地消について言葉やその意味を知っていましたか。



※()は令和5年度の数値

・地産地消について知っているか聞いたところ、言葉も意味も理解できているのは全体で86%(85%)となっています。

・年代別にみても、言葉も意味も理解しているのは、いずれの年代も70%(70%)以上を示しており、ほとんどの年齢層で理解している割合が高い傾向にあります。

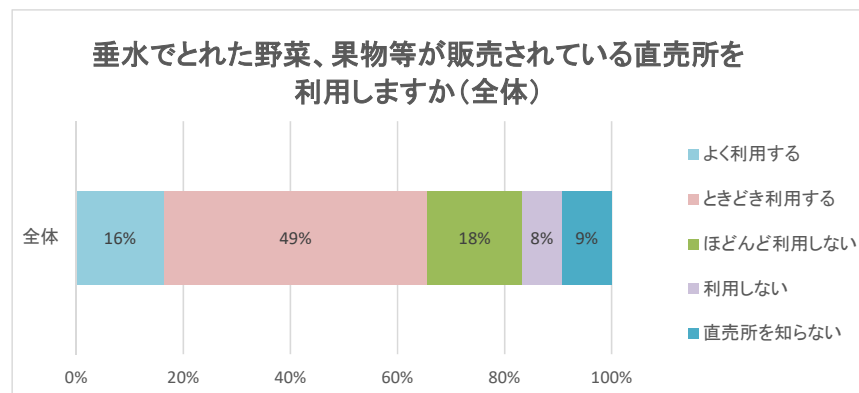
※「鹿児島県 県政モニター(令和5年度)」同設問無し

※「国 食育に関する意識調査(令和5年度)」同設問無し

地産地消とは
その地域で作られた農林水産物を、その地域で消費すること。

問9 垂水でとれた野菜、果物等が販売されている直売所を利用しますか

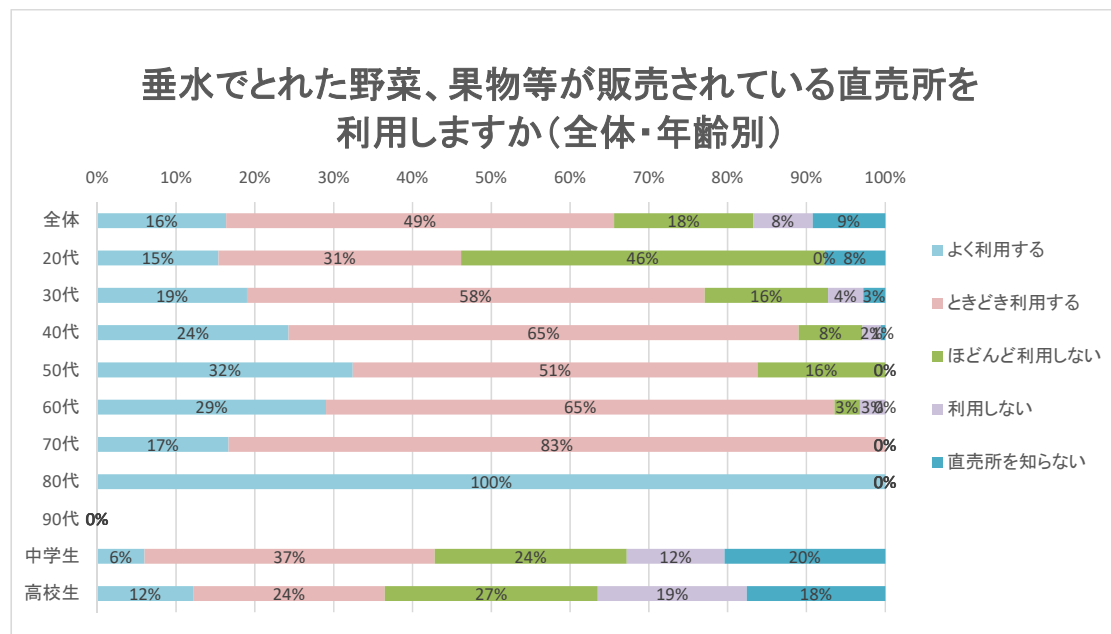
※()は令和5年度の数値



・市内の農産物直売所やスーパー等の地場産コーナーを利用していますかの問いに対し、全体で「よく利用する」、「ときどき利用する」が合わせて65%(61%)となっています。

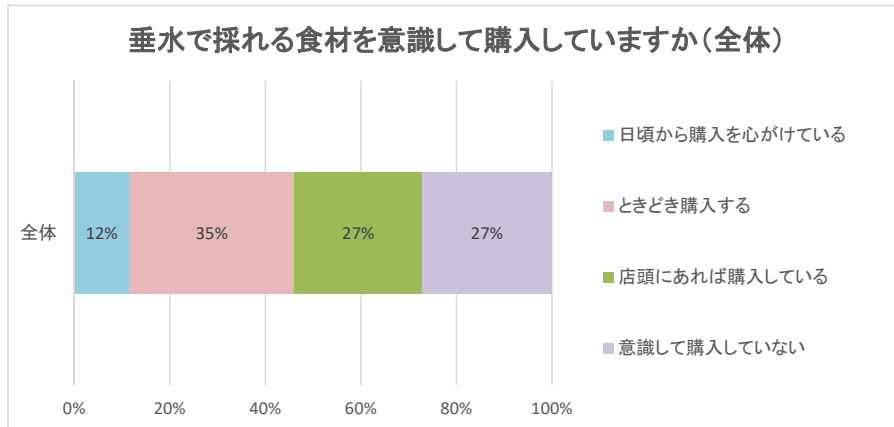
※「鹿児島県 県政モニター（令和元年度）」類似設問

①週1回以上	22%	〔県内の農産物直売所の利用頻度〕
②1ヶ月に1回以上	39%	
③2～3ヶ月に1回程度	22%	
④年1回程度	11%	
⑤利用したことはない	6%	



問10 垂水で採れる食材を意識して購入していますか

※()は令和5年度の数値

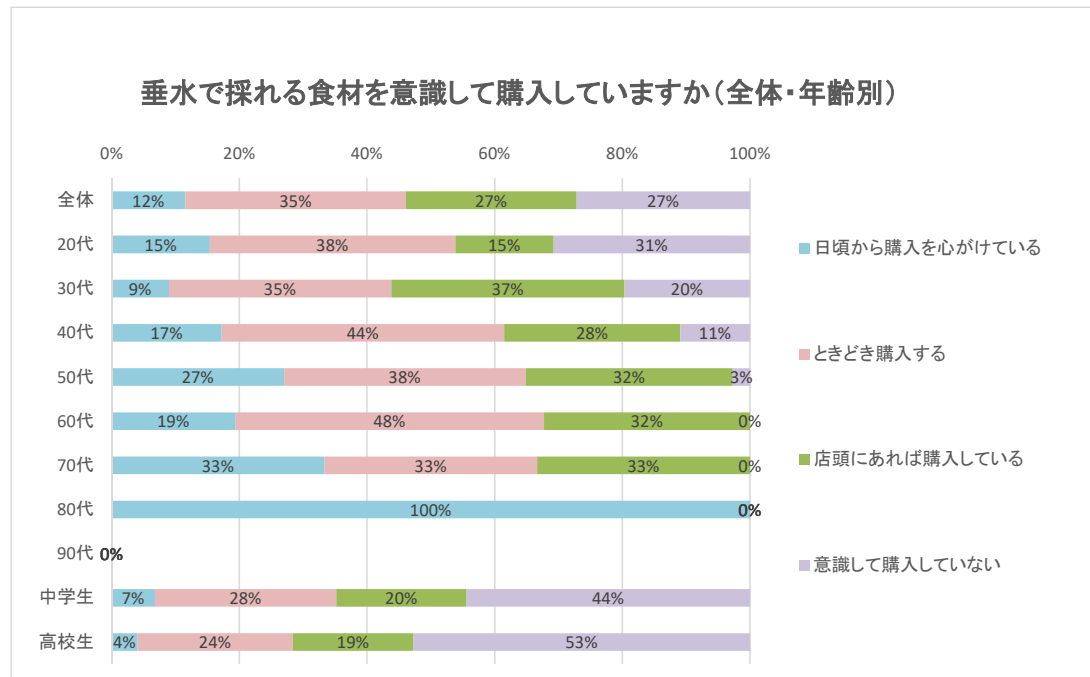


・垂水で採れる食材を意識して購入しているかの問いに対し、全体では「日頃から購入を心がけている」、「ときどき購入している」が合わせて**47%(41%)**となっており、約3割が意識していないとなっています。

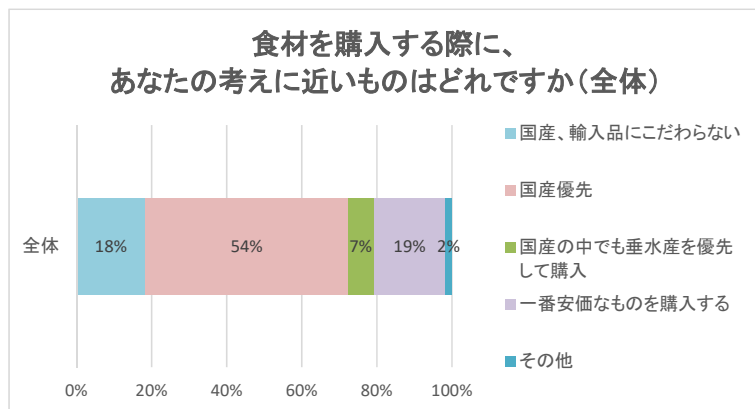
① 日頃から購入を心がけている	12%	(12%)
② ときどき購入する	35%	(29%)
③ 店頭があれば購入している	27%	(24%)
④ 意識して購入していない	27%	(35%)

※「鹿児島県 県政モニター（令和5年度）」同設問

① いつも意識して購入するようにしている	46%
② ときどき購入する	34%
③ 意識して購入していない	15%
④ 購入する機会がない	5%



問11 食材を購入する際に、あなたの考えに近いものはどれですか。



※()は令和5年度の数値

・食材を購入する際の考えについての問いに対し、54%(52%)が国産優先と回答しています。
国産の中でも垂水産を優先して購入の選択肢に関しては7%(8%)と低くなっています。

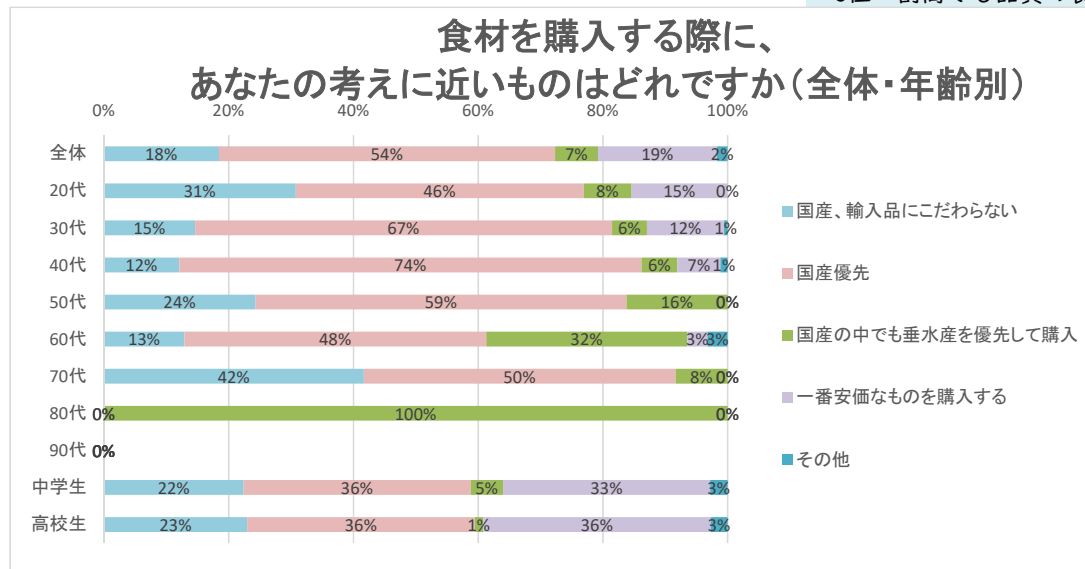
①国産、輸入品にこだわらない	18%	(20%)
②国産優先	54%	(52%)
③国産の中でも垂水産を優先して購入	7%	(8%)
④一番安価なものを購入する	19%	(18%)
⑤その他	2%	(3%)

※「鹿児島県 県政モニター（令和5年度）」同設問無し

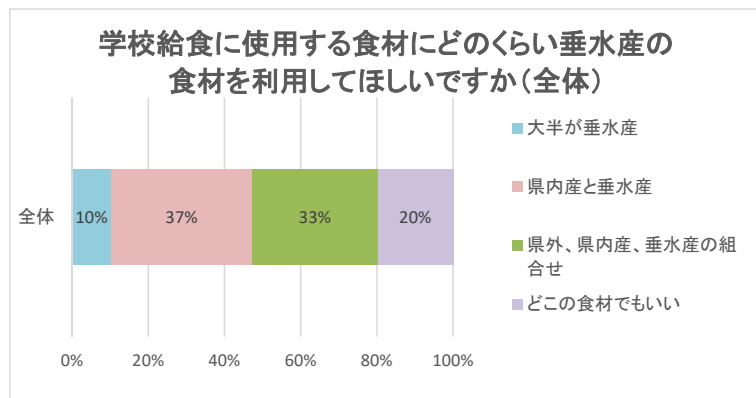
※参考「国 食生活・ライフスタイル調査（令和5年度）」類似設問

- 1位 同商品であれば安価であること
- 2位 日本産の商品
- 3位 価格基準を優先
- 4位 サイトのコメントが良いもの
- 5位 割高でも品質の良いもの

〔 普段の買い物で重視すること 〕



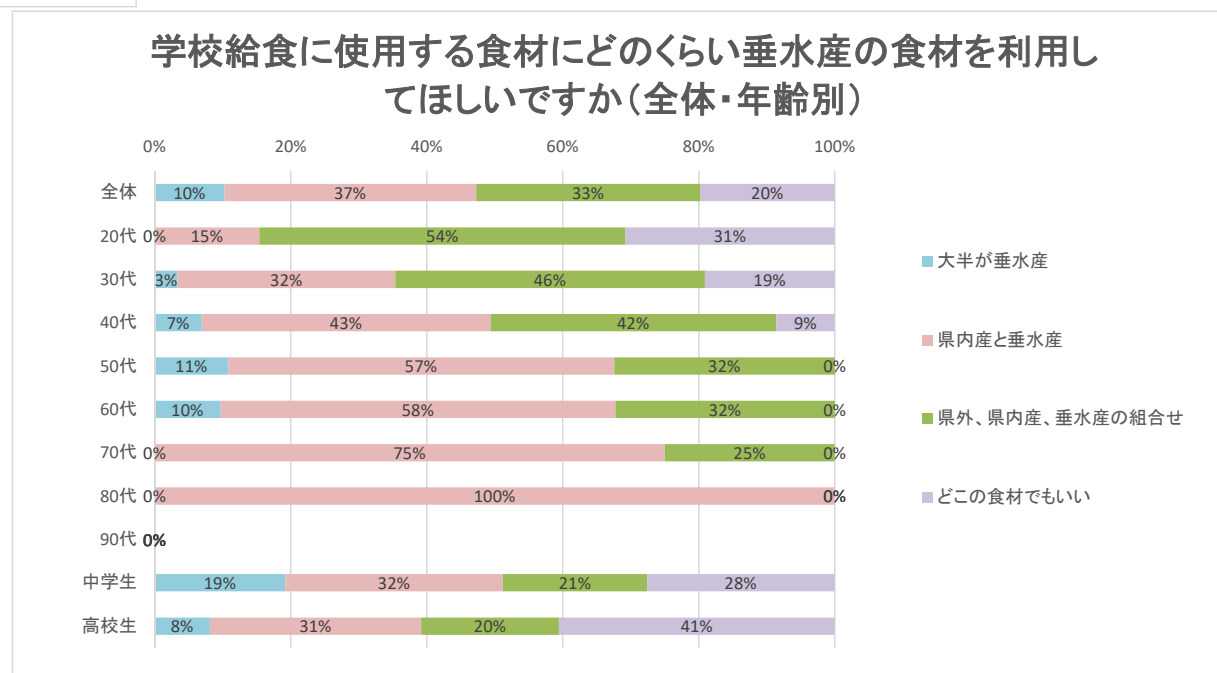
問12 保育園、幼稚園、小学校、中学校の給食に使用する食材に垂水産の食材をどのくらい利用してほしいと思いますか。



※()は令和5年度の数値

・保育園・幼稚園・小中学校の給食に使用する食材に垂水産の食材をどのくらい使用してほしいかの問いに対し、47%(47%)の方が県内産と垂水産と回答しています。

①大半が垂水産	10%	(14%)
②県内産と垂水産	37%	(33%)
③県外、県内産、垂水産の組合せ	33%	(34%)
④どこの食材でもいい	20%	(19%)



その他意見（一般）

食育	親子料理教室が定期的にあったら利用したいです。
	物価高の影響で、野菜や必要な栄養素が不足してしまわないように普段よく使う食材以外も使えるようになりたいです。
	・食べず嫌いが多いので食にもっと興味をもって何でも食べられるようになってもらいたい。 ・自分たちが何を口にしているのかも知る時間があるととても良いですね。
	子供の頃から食育・地産地消について学ぶことは将来的にとっても良いと思います。私たち親ももっと学んでいきたいと思っています。
	親から子どもに食べ物を選ぶ力やお料理ができる力、食べ物の命を感じる力、元気な体がわかる力を理解できるように伝えていけたらと思います。
	子どもたちが大きくなり学校や習い事で家族が揃って食事をするのが難しくなりました。なるべく夜の食事は家族で食べられるよう気にかけています。我が家に十でとても大切な食育です。
	私の祖父・祖母が農家ということもあり、幼い頃から農作物を育てる手伝いなど食育にふれていました。なので、もっと農業体験等食にふれる機会があればいいなと思います。（今の小さい子ども達）。地産地消に関しては、物価が上がっているの、どうしようもないですが、品物を手に入るのを躊躇することもあります。
	食べるだけではなくどのように生産しているかなどのお話をしをあげたり（今日は〇〇さんの野菜）ですとか紹介があったら、子供たちも興味がでてくるのではないのでしょうか？
地産地消	子供の頃から食育は大切だと思います。今は栄養教諭の方が食育活動したりして良いなあと思います。
	食育と言うと、子供が対象だと思っていました。近くに子供がいない私たちには無縁と思っていましたが、私たち自身が毎日の食事を気をつけることも食育に含まれるのかと、驚いたのが正直なところです。
	垂水にはたくさんの食材があると思います。もっと子供たちに食べさせたいです。
	昨年、ある農家さんのさつまいもがとても美味しかったのですが、どこに卸しているのかわからず…。その時は道の駅で購入しましたが、入荷の日がまちまちなのか1度しか購入できませんでした。各スーパーなどにも直売所？があると思うのですが、入荷カレンダーのようなものがあると垂水市内の物も手に取りやすいかもしれませんね。
	地産地消したくても高値で買えないと感じることはある。地元民には安くしてほしい。
	直売店がどこにあるのか知りたいです。
	地産地消の推進が無さすぎてびっくりする。しているのであればアピール不足と思われる。垂水産かどうかだけでなく、農薬の量や栽培方法などの情報もなく、安易に購入できない。手に入らないのもう諦めてネットで安全野菜を買うことにしている。
	耕作放棄地が目につきます 地産地消を推進するためにも小規模農家が存続できるような多様な施策を実施していただきたい
	生産者の努力やこだわり、製品に対する思いが消費者に伝わるような販売方法を広める
	道の駅の品揃えにもっと魅力的な地元の野菜類を加えて欲しい
	無農薬の食材表示の野菜が欲しい時、表示が無いと虫食いが有るのがそうなのかな？と自己判断しますが…… 垂水産だけでも有れば助かります。
	地産地消がもっと広がるといいと思います。地元の生産者がもっと売りやすくなればと思います。

学 校 給 食	給食にもっと垂水産を多く取り入れてほしいと思います。新鮮な食材を使ってほしいので、給食の食材だからといって傷んでいるものや古いものを使わないでほしいです。無償化なので、保護者は意見を言いにくい状況なので、インスタを毎日見てとても感謝していますが、使っている食材ももっと掲載してほしいです。
	食べることは生きること、給食は楽しく栄養をとることが献立を見て取り組まれているなぁと日々感じています。ありがとうございます。
	・給食で垂水産のブリやカンパチを食べる機会を増やしてほしい。 ・おいしい給食がたくさんあるので、すごく嬉しい。
	安全なものを使ってほしい。
	給食は和食中心にしてほしいです。他国の食事にふれるということも食育の一環かもしれませんが、日本人の身体にあっていないと思います。そして、ごはんは牛乳はおかしいです。お茶・麦茶・お水じゃダメでしょうか？
	家庭ではなかなか地産地消が実行できていないので、学校の給食でぜひ活用してほしいです。
	給食に県内産・垂水産を多く使用するのはかなり難しいと思います。食育は、基本は家庭でするものだと思います。小学校給食はパンが多いと思います。
	給食に県内産・垂水産を多く使用するのはかなり難しいと思います。食育は、基本は家庭でするものだと思います。小学校給食はパンが多いと思います。
	いつもおいしい給食の提供ありがとうございます。家では野菜を食べないことがあるので、給食だけでも完食してくれれば嬉しいと頼りにしています。今後よろしくお願いします。
	有機食材を多く使ってもらえると嬉しいです。
	・給食では地元の食材を食べる機会が多いが家ではなかなか少ないので、もっと地元の食材が購入できる場所やコーナーを増やしてほしい。 ・おいしい給食を食べているので、家でもよく話題にあがっています。
	給食メニューレシピが参考になっている。ありがたいです。
	家でもバランスの良い食事を心がけていますが、家では不十分な点を給食で補っている感じで助かっています。行事食についても同様ですが、もっと子どもと共に理解しながら「食」について考えていけたらと思います。また、給食メニューの知りたいレシピを知ることができればとも思います。
	学校給食で垂水産の食材を多く使って頂きありがとうございます。これからも安全でおいしい給食の提供をお願いします。
	いつも給食が美味しいと家でも話題になります。ありがとうございます。
	いつもおいしい給食の提供ありがとうございます。家では野菜を食べないこともあるので、とりあえず給食だけでも完食してくれればいいという思いです。今後ともよろしくお願いします。
	県内産にこだわらず、他県の色々な食料も口にしたいとたくさんの実感を感じて刺激を受けてほしいです。
	垂水市は地場産野菜を積極的に給食へ利用している姿勢が素晴らしい。ぜひ子ども達のためにも続けて頂きたい。
	このアンケートは一家庭一枚で良いのでは？
	外国人研修制度による、外国人の方々の苦勞を知る機会があればありがたい。（漁業・農業）
	食材の値段が落ち着いてから考えたい。
	市内には子ども食堂が北と南にあると市報に詳しく掲載してありましたが、中央地区にないのは何か理由があるのでしょうか。
	温かい取り組み本当にありがとうございます

44	地産地消を心がけるようにしたいです。
45	食育という言葉は知っていて、意味も大体わかってはいたけれど、詳しく考えたことはありませんでした。栄養を意識しながら食事のマナーなどをしっかりと身につけていきたいです。
46	垂水産でも外でも別にどこでもいい。だって、おいしいから。あまりどこ産とか気にしたことがない。
47	垂水で採れたものを優先して食べたいです。
48	最後まで好き嫌いがなく残さないで食べることを心がけています。
49	私はカンパチが大好きです。
50	今まで特に食育などを意識していなかったけど、これからは意識していきたいです。
51	これからも好き嫌いせずに地産地消や食に関することについていろいろと取り組んでいきたい。
52	日頃から野菜の無人販売などをよく利用していて、お店で買うよりも安く、美味しく、新鮮な物が食べられてそういった場所がもっと増えるといいなと思う。
53	地産地消をあまり意識していなかった。
54	ごはんたくさん食べます。
55	地産地消をがんばります。
56	知らなかった
57	地産地消は知っていたけど、食育は知らなかったので知れてよかったです。
58	これからも、垂水産や県内産のものを増やして行ってほしい。
59	食育は、言葉は聞いたことがあって、意味は知りませんでした。でも今日、食育の意味を知れたので良かったです。
60	垂水産の食べ物を買いたいと思います。
61	あまり最近では地産地消を考えていなかったけど、あらためて、地産地消について考えようと思いました。
62	いっぱい食べて元気になる。
63	好き嫌いをしないようにしている。給食もいつもおいしく食べて残さないようにしています。
64	垂水産の食べ物をこれから買っていこうと思います。
65	カンパチが大好きでよく食べます。
66	地産地消に意識していなかった。
67	給食で垂水の食材が出ていてとてもいいと思いました。
68	垂水のものを食べます。
69	地産地消の意味が知れてよかった。
70	垂水のカンパチはおいしいです。
71	デザートができれば増やしてください。
72	垂水のご飯はとってもおいしいです。
73	給食にもっとおいしい魚をいれてほしい。
74	給食のデザートをもっと増やしてください。
75	給食においしいものをたくさん出してください。
76	おいしい魚を出してください。

その他意見（中学2年生）

77 おいしい食べ物毎日ありがとうございます。

78 もっと気を付けていきたいと思う。

79 美湯豚はどれくらいたてば育ちますか？

80 いつも給食をおいしくいただいています。

その他意見（中学3年生）

81 地産地消として給食に垂水市の食材を多く使ってほしいです。垂水市の食材だと食べ残しも少なくなると思うからです。

82 なるべく垂水産の食材を購入しようと思った。

83 給食で出るカンパチやブリはとても美味しく垂水に住んでいてよかったと思います。他にもたくさん垂水の名物が食べたいと思いました。

84 直売所について知りたいです。

85 ご飯粒を残さないように気を付けています。

86 給食のデザートを増やしてほしいです。

87 給食の作り方を知りたい。

88 垂水のおいしい食べ物を僕たち垂水市の人たちがたくさん食べて、地産地消に貢献できるように心がけていきたい。

89 「食育」や「地産地消」など食について大切なことを知ったので、今日から食事について考え、自分のためにできることをしていきたいです。食事のバランスやマナーも意識して食べ物に感謝しながら生活していきたいです。

90 食べ物によって人の体はできているので、バランスの良い食事や正しい作法に気をつけたい。

91 親と一緒に買い物をするときに、あまり垂水の食材を意識して購入していなかったなので、次からは垂水で採れた野菜や果物を中心に購入していきたいと思った。

92 食育や地産地消についての表示が垂水市全体で視覚的にわかりやすくすることで取り組みを推進できるのではと思いました。例えば、垂水市の野菜等のコーナーを作り、お得に買えるようにする。食育、地産地消のテーマを作りお店の商品に貼ってもらうなど。

93 バランスを取るのが少し苦手です。でも少しずつバランスの良い食事を取れてきています。いつかしっかりとしたバランスの良い食事を毎日とり続けたいと思っています。

94 意識をあまりしていなかったなので、次から垂水産のもの意識して買ってみようと思いました。

その他意見（高校生）

95 食育や地産地消について、あまりわかっていないので調べてみます。

96 海ぶどう食べてみたいです。

97 垂水出身ではないからわからない。

98 地産地消を活発できるように垂水産の店を増やすなど